

こころホスピタル草津で診療を受けられる皆様へ



当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

| | | | | |
|-----------------|---|------------|----|------------------|
| ① 該当者 | 2025年4月1日～2026年3月31日の期間に、当院に入院されたうつ病患者さんの方 | | | |
| ② 研究課題名 | 入院うつ病患者における自覚症状の改善度と入院中の作業療法評価は退院時アウトカムを予測するか：後方視的コホート研究 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 2025年4月1日～2026年3月31日 | | | |
| ④ 研究組織 | <p>当院の研究責任者 こころホスピタル草津 精神科 中津啓吾</p> <p>研究機関の長 こころホスピタル草津 理事長・院長 佐藤 悟朗</p> <p>研究代表者 中津啓吾</p> <p>研究実施担当者 岡崎智行、吉田保奈美、北野千絵、浅岡聰</p> | | | |
| ⑤ 使用する 試料・情報 | <p>収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、入院時治療形態、入院中の保護室使用の有無、入院日数、GAF、罹病期間 CUDOS-A、入院中の作業療法の評価や参加状況に関する情報、薬物療法、退院時や退院後の情報などについて、電子カルテを基に後方視的に収集いたします。 診療情報は当院の研究責任者および実施担当者が情報を取り扱い適切に保管します。</p> | | | |
| ⑥ 目的 | 患者さんの「自覚的症状の評価」はうつ病の治療においても重要です。入院中の自覚症状の変化と作業療法評価が退院時アウトカムとどのように関連するかを明らかにすることを目的とし、自覚的・客観的指標の双方から、より早期の回復予測に有用な要因を検討したいと考えています。 | | | |
| ⑦ 方法 | <p>⑤に記載の情報を電子カルテより抽出し、診療録の後方視的調査を行います。退院時・退院後のアウトカムと各指標との関連する要因を単変量解析にて探索します。 退院時・退院後のアウトカムを従属変数とし、自覚症状や作業療法評価スコアを独立変数とする多変量解析を行う。その際、年齢、性別、入院時重症度など、単変量解析で関連が示唆された交絡しうる因子を共変量としてモデルに投入します。</p> | | | |
| ⑧ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2025年9月26日 | | |
| | 院長承認日 | 2025年9月26日 | | |
| ⑨ 公表 | 個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。 | | | |
| ⑩ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。 | | | |
| ⑪ 知的財産権 | 将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。 | | | |
| ⑫ 利益相反 | 本研究では、利害の衝突は一切生じません。 | | | |
| ⑬ 問い合わせ | 連絡先 | 岡崎 智行 | 電話 | 082-277-6301（直通） |
| | こころホスピタル草津 リハビリテーション部 デイケアセンター課 | | | |